



なっとくんの

なるほどなっとくニュース

県立山口
博物館
学校地域
連携担当

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、No.1 から県立山口博物館のホームページで見ることができます。



2013年8月12日 No.16

かいさいちゅう
ただいま開催中!



なまえ し み すく い もの
名前を知っていても、じっくり見ることは少ない生き物たち

「アリ」もアップで見るとなかなかの迫力。ウエスト(?)が細い!



カワラヒワ (アトリ科) は、スズメ程度の小さな鳥ですが、こうして下から見るとなかなかの迫力ですね。



なにやら相談中?



クロオオアリの巣穴



クロオオアリはやはり大きい! 赤丸は他のアリ



←これがアリの天敵!

有名な「アリジゴク」の正体です。ウスバカゲロウの幼虫ですが、ハサミが結構すごいですね。この幼虫はバック(後進)しかできないそうです。確かにつついてみても、後ろにしか進まず、おしりから地面にもぐっていました。

ちきゅうじょう せいぶつ かか あ い せいぶつ たようせい い
地球上ではさまざまな生物が関わり合って生きています。それを生物の多様性と言いますが、お互いのバランスがくずれると、1つの種が大量発生したり、絶滅したりします。身近なアリやゴキブリたちも、いろいろな試練を乗り越えて長い年月生き残ってきました。
(写真はすべて7/24~8/8に博物館周辺で撮影)

きれいだけど・・・さわれるかな?



つやつやしてきれいなので、言われないと気づかないかも知れませんが実はゴキブリのなかまです。ゴキブリは、外で見かけると意外な感じがしますが、このオオゴキブリのように屋内で生活しない種も多くいます。ゴキブリのなかまは、数億年前から生きていて、自然界では人間の大先輩です。まさに「生きた化石」。それなのにずいぶんときらわれたものですね。

ベンチ? えんばん 円盤?



サルノコシカケとはよく言ったもので、たしかに座れそうなぐらい立派なキノコ。